

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 3 月 1日

事業所名:児童発達支援センターすきっぷ

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	基準(24.7㎡)以上の空間(86.0㎡:41.0㎡+45.0㎡)の確保はできている。	基準は達成しているが、活動内容やご利用児の特性、感染症対策等踏まえながら、その都度工夫していく。
	2 職員の配置数は適切であるか	5	2	0	基準(2名)以上のスタッフ数(5名以上)の確保はできている。	基準は達成できているため、プログラムや配置の工夫、他部署からの応援体制等で、充実したサービス提供ができるように整えていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	0	0	床面はフラットであり、エレベーターも設置されている。様々な広さの部屋があり可動壁も活用している。子どもたちの課題に合わせてスタッフ間で配慮の方法について検討している。	今後も継続して、子どもたちの変化や課題をスタッフ全体で共有していく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	0	0	事業所アンケートだけでなく、事業計画や事業目標を設定し、職員会議の中で継続的に取り組んでいる。	PDCAサイクルを共有し、継続的に取り組んでいく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	評価結果についてスタッフ間で共有している。	スタッフ会議などで共有し、事業所・職員の目標として取り組む。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	評価結果についてはスタッフ間で共有するとともに、ホームページや事業所掲示板での開示を行っている。	今後も継続して取り組む。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	1	各関係機関との連携の中で評価を受けた場合、業務改善に取り組んでいる。	スタッフ間での共有を行い、必要に応じて業務改善を行っている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	0	年間1人年1回以上の研修機会の確保と、法人内研修参加等の機会を設けている。	様々な分野の研修の機会を確保し、資質向上につなげていく。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	保護者面談でのニーズ確認や発達検査、専門職のアセスメント、療育スタッフの見立て等複数の職員で意見を交わしながら作成している。	今後も継続していく。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	0	発達検査を実施・分析するなど活用している。	今後も継続していく。

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	0	専門職、療育スタッフが連携して立案している。月案や年間予定で計画し、毎年見直しを行っている。	今後も継続し、より良いプログラム作成を目指していく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	スペシャルウィークの実施やご利用児からの要望を取り入れ、毎日活動プログラムが作成されている。	今後も継続して取り組む。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	0	ご利用児の希望も取り入れながら、毎日活動プログラムが作成されている。また長期休暇については特別プログラムを取り入れている。	今後も継続して取り組みながら、質の向上を目指していく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	本人やご家族、関係機関とも相談しながら、個別活動の目標および集団内での目標を作成している。	今後も継続して取り組む。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	事前確認ができる時間を設けている。	今後も継続して取り組む。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	働き方を見直す中で振り返り時間の短縮を進めており、作成した記録を閲覧して情報共有できるようにしている。	今後も継続し、職員間で気づきなどが共有でき、より充実した支援となるよう整える。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	療育終了後に記録を作成し、児童発達管理責任者により、内容等確認している。	さらに充実した記録となるように職員間での検討を行う。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	定期(半年)のモニタリングを実施している。また保護者・関係機関と連携を図り、計画に反映している。	今後も継続して取り組む。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	7	0	0	ガイドラインについてはスタッフ全員で確認を行っている。	よりガイドラインを意識した活動を提供できるよう準備を行う。

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	相談支援事業所が同法人であり、状況の把握や連携が取りやすい。	今後も継続して取り組む。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	0	0	学校からのお知らせをいただいたり、送迎時に情報共有を行っている。また、連携や年3回のすきっぷ通信等も活用しながら連絡調整を行っている。	今後もより充実した連携・情報共有ができるように取り組む。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	0	0	現在、医療的ケアが必要な子どもの利用はないが、受入れの場合には、体制を整えていく。	必要に応じて充実した連携と支援ができるように整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	0	0	保護者を通じて必要な情報については共有をしている。	引き続き、保護者のご確認をいただきながら必要な情報共有に取り組む。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	0	0	対象が小6までのため、このようなケースはないが、必要に応じて連携している。	今後も保護者のご確認をいただきながら、適時必要な情報の共有を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	1	当事業所発信による連携やセミナーに他事業所から参加が増えるように広く呼びかけている。また専門機関への研修に積極的に参加している。	今後もより充実した連携ができるように取り組む。他機関や他事業所などが研修などを設定された時には積極的に参加できるよう取り組む。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	0	4	機会として設定はできてはいない。	交流は不要という保護者の意見もあり、今後については要検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	1	自立支援協議会に子ども支援部会が設定されていないが、協議会の会議には参加している。	関係機関との会議や連携の機会があれば積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	毎回の送迎時や随時見学や面談を受け、保護者とのコミュニケーションを図っている。	今後も継続して取り組む。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	0	1	送迎時や連絡帳を通じてのやりとり、個別面談等を行っている。	さらに充実した支援が行えるよう工夫していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	契約時と変更時には説明を行っている。	引き続き、丁寧に説明を行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	連絡帳やすきっぷ通信の活用、随時電話での相談、見学や面談を受け付ける中で、相談内容に応じて専門職も入りながら対応している。	さらに充実できるように取り組む。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	1	年1回保護者参加行事を予定しているが、今年度は感染防止のため実施できなかった。	保護者ニーズを把握し、感染症対策を行いながら充実できるよう取り組む。	

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	苦情に関する対応システムがあり、苦情があれば取り組む。	苦情がないよう事業所全体で取り組んでいく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	ホームページでの活動報告(月3回更新)、年3回さーきっと(保護者・関係機関の連携)を発行している。	今後も継続して取り組む。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	個人情報の取扱いに関する指針を設けている。	今後も注意して取り扱う。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	子どもたち・保護者の意思を確認しながら、写真やビデオ、オンラインでの見学等、充実したコミュニケーションができるよう配慮を行っている。	今後も継続して取り組む。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	1	地域の方を招待する機会は設けていないが、行事等にはボランティアの方を招待するなど可能な範囲で企画していく。	今後はより充実できるよう検討を行う。

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0	マニュアルは策定できている。訓練については毎月取り組んでおり、今後はより実践的な訓練としていく。	マニュアルについてはスタッフが常に確認できるよう整え、訓練に関してもお知らせ等での周知だけでなく、実際の様子などが保護者の方も確認できるよう取り組む。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	毎月取り組んでいる。	今後はより細かく状況を設定し、継続して取り組んでいく。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	虐待に関する法人内・事業所内研修を実施しているとともに、報道などがあつた際には職員間で共有している。	今後も継続して取り組んでいく。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0	事業所では身体拘束は行わないこととなっている。	今後についても十分に検証を行い、必要の場合は記載を行う。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0	アセスメント時、契約時に確認をしている。	今後も継続して取り組んでいく。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	ヒヤリハットについては事業所内で確認し、法人内のヒヤリハット事例集を共有している。	今後も継続して取り組んでいく。